



10月 ちゅうりっぷだより



2026. 10.1

ちゅうりっぷさんで過ごす1年もあっという間に半分が終わりました。夏のあそびを終えてみると、春とは違った子どもたちの姿が見られるようになりました。ひとりひとり違いはありますが、ずり這いやハイハイ、つかまり立ちや一人歩きでお部屋の中を散策し、お気に入りのあそびや場所が増えてきました。特に、大人のすることに興味が出て、おむつを出すお手伝いをしようと引き出しを開けたり、カゴの用意をするかのようにみんなのカゴを出しているかと思いきや、中に入ると楽しくなってあそぼうとするので、「あぶないよ」と止められる姿もあります。「今は使わないよ」、というタイミングで帽子を持ってきてくれるお友だちもいて、あれもこれも出すことに一生懸命。これから活動範囲もどんどん広がります。保育者が「これはナイナイしておいてね。」「これは危ないからめくったらダメだよ。」など伝えることを繰り返す中で、少しずつ伝わるようになってきています。そして、「じょうずにできたね!」「ステキ、すごいね〜!」という言葉は特に大好きで、褒めてもらおうと手をパチパチさせながらニッコリ笑顔で喜んでくれます。お友だちや身近な大人たちがしていることに「なんだろう?」と興味を持ち始めている子どもたち。周りのものを見たり、触ったりすることで、「たのしい!」「おもしろい!」とたくさん良い刺激を受けて過ごしていけたらと思います。

子どもたちの心を動かすあそび方は、時には“いたずら”と表現されることもあります。しかし、今子どもたちが大人を困らせるようなあそび方をしているのは、目の前の大人に興味をもってしっかり見ている証拠、見る力が育っているということです。そんな子どもたちが存分に楽しめるようにお部屋には、いたずらあそびを用意しています。何度も繰り返すことで手先が器用になっている様子も見られますよ。



とことこちゃんへ（交流・移行って?）

子どもたちの育ちに合わせて、お部屋をお引越す“移行”の取り組みをしています。自分より少し大きいお友だちの生活する姿、あそぶ姿を見ると、「たのしそうだなあ。」「なにをしているのかなあ。」と子どもたちのお心は動き出し、自分でもやってみようとする姿へと変わっていきます。この自分から気づく環境をお部屋の移動をすることで作っています。今、5月生まれのお友だちが11月の移行に向けて、少しずつとことこのお部屋であそび交流を始めています。ドキドキしているお友だちもいましたが、6月まで一緒に過ごしていた、たんぽぽのお友だちや先生がいることで、安心して新しいあそびに出会い、楽しんでくれています!



お散歩に行こう!

暑さが落ち着き、お散歩が気持ち良い季節を迎えます。先日、浅原公園に行くと幼児さんがうんどうあそびの練習をしていたので、フェンス越しにじーっと見つめるお友だちの姿がありました。落ち葉を手で握ってパリパリ音が鳴るのを楽しんだり、木の枝を拾ったり、砂の感触を楽しむ姿もありました。これからも天気の良い日にはお散歩に出かけて、おひさまや風の心地よさを感じ、秋の自然に触れて楽しみたいと思います。



（お願い）

- ・涼しくなってきて、散歩に出かける機会が多くなります。朝の用意は9:00までにお願いします。
- ・朝夕と涼しくなりましたが、部屋の中では体を動かすことも多いので、厚着にならないようにしてください。ズボン、半ズボンをお願いします。（裏起毛やフリースの衣類は、避けてください。）

